

国語科 授業ガイダンス ～言葉と人と文化とつながる国語～

0 はじめに

現在、新型コロナウイルスによって、世界中の人々が、大きな混乱と恐怖に直面しています。私たちは、この問題に象徴されるように、社会や経済、環境や平和など、様々な分野において前例のない変化に直面しています。では、そんな時代に生きる私たちには、どのような学びが求められるのでしょうか。



1 向陽中学校では、どんな力を身に付けていくのでしょうか

(1) 「つよさ」～たくましく生き抜く力・新しい価値を創造する力～

私たちは生きていく中で、たくさんの嬉しいことと出会うように、同じくらい 悲しいことや苦しいこととも出会います。ときに乗り越えることが困難な問題に直面することがあります。そんなときに、立ちすくんでしまうのではなく、困難に立ち向かい、乗り越えていくたくましさが必要です。

アメリカの心理学教授、アンジェラ・ダックワースさんは、プロスポーツ選手など、様々な分野で困難を乗り越え、成功している人の特徴を研究しました。

その研究の結果、成功して偉業を成し遂げた人たちは、「才能」よりも、「やり抜く力」が優れていることが分かりました。この「やり抜く力」を高める要素として「情熱」と「粘り強さ」があることが分かったそうです。

私たちは、「情熱」と「粘り強さ」に裏打ちされた「たくましく生き抜く力」を、自分自身に付けていく必要があります。そんな力を身に付けた人は、困難な課題に直面しても新しいアイデアを生み出し、解決に向けて具体的に行動していくことができるでしょう。向陽中学校では、そんな力を「つよさ」と呼んでいます。

(2) 「やさしさ」～人や社会とかかわる力～

私たちが生きていく社会に多くの困難な課題があることは、皆さんも感じていると思います。例えば、なぜ国と国とが対立して戦争が起きるのか、なぜ差別や偏見はなくなるのかわからないのか、なぜ豊かな人と貧しい人が存在する格差があるのか、といった疑問を持った人は多いことでしょう。

スウェーデンの公衆衛生学者ハンス・ロズリングさんは、『ファクトフルネス』という本の中で、偏ったものの見方に惑わされずに、正しいデータや事実を基に、本質を理解することが大切であると書いています。

私たちがこれからの時代を生きていくには、様々な対立や違いを乗り越え、互いに理解し合い、周囲の人や社会に貢献する生き方が求められます。

向陽中学校では、そんな力を「やさしさ」と呼んでいます。

(3) 「こころざし」～幸福な人生と社会を実現する力～

国連が2020年3月に発表した、世界156カ国を対象にした「世界幸福度ランキング2019」によれば、日本の順位は58位だったことが分かりました。これは、各国の国民が「どれくらい幸せと感じているか」を基にした調査です。

私たちはどのようにすれば幸福な社会を実現することができるのでしょうか。なかなか難しい問いだと思います。皆さんもこの答えを考えてみてください。自分にとっても多くの人にとっても幸福な人生や社会を実現するために、夢や理想を描くことを、向陽中学校では「こころざし」と呼び、大切にしています。

2 向陽中学校の国語科では、こんな力を身に付けていきます

(1) 言葉の力(つよさ:自立するために)

- ・ 国語科の学びでは、「話す」「聞く」「書く」「読む」といった、社会生活で役立つ国語を適切に表現し、正確に理解する力を身に付けます。

(2) 人間関係の力(やさしさ:共に生きるために)

- ・国語科の学びでは、互いの立場や考えの違いを大切に、場面や状況、目的に応じて伝え合う力を身に付けます。

(3) 文化の力(こころざし:幸福な人生と社会を実現するために)

- ・国語科の学びでは、歴史の中で育まれてきた我が国の文化を学ぶと同時に、現代の社会とつなげて、自分自身の生き方について考え、具体的に行動する力を身に付けます。



3 国語科の学び方

(1) 「話す・聞く」「書く」「読む」ことを組み合わせて、工夫して学びます。

- ・これまでに学んだ知識や技能を、具体的な目的に応じて、実際にどう使うかを考え、判断し、工夫して表現していきます。

(2) 「対話」を大切に学びます。

- ・自分の人生をよりよいものにするために、自分自身との対話、周囲の人や様々なもの、世の中のこととの「対話」を通して、深く学びます。

(3) 「世の中」と「自分」をつなげて学びます。

- ・様々な古典のような過去の遺産、現代社会の様々な課題、どのような未来を創造するのかについて、自分の生き方や考え方と関連させて、学んでいきます。

4 臨時休業期間の具体的な家庭学習アドバイス

(1) 生活リズムをある程度、学校生活と同じにする。でも自分で計画する。

- ・朝、決まった時間に起き、朝食をとります。パジャマから必ず着替えます。
- ・時間割を自分で計画しましょう。50分授業のつもりで、10分間の休憩を取るとちょうど1時間なので分かりやすいです。下は、具体例です。

■①国 9:00~9:50 ■②社 10:00~10:50 ■③数 11:00~11:50 ■昼食
 ■④英 13:00~13:50 ■⑤理 14:00~14:50 ■⑥音・美・体・技家 15:00~15:50

(2) この機会に、「一人学びノート」を作ってみよう。

- ・臨時休業期間を、家庭学習の習慣を身に付けるチャンスにしましょう。家庭学習の習慣として、家庭で決まった場所、決まった方法を身に付けることができれば、今後のあなたの財産になります。
- ・おすすめは、1冊のノートに各教科で学んだことを全てまとめていることです。授業のノートとは別に一人学びノートを作ると、これからの家庭学習の方法として、素晴らしい習慣が身に付きます。ぜひ挑戦してみましょう。



(3) どの教科でも、音読に積極的に取り組もう。

- ・教科書を音読してみましょう。どの教科でも苦手だと言っている人ほど、教科の教科書を音読していないようです。とても効果が高いので、まず音読してみてください。

(4) 漢字書き取りや問題集「国語の学習」に積極的に取り組もう。

- ・復習型の人が多いのですが、予習をして半分かり状態で授業に参加した方が理解しやすくなります。予習として問題集を活用しましょう。今回の臨時休業期間に自主学習ノートを作ってみたり、新しく学習する漢字を早めに勉強したりすることをお勧めします。国語の学習はp16までやっておきましょう。ノートに書いても問題集に直接記入しても構いません。漢字も問題集も宿題ではありません。工夫して取り組みましょう。
- ・漢字の範囲は自分で決めましょう。漢字が苦手な人は小学校で学習した漢字の復習を。得意な人はどんどん先へ進めましょう。200字の漢字ノートがおすすめです。
- ・200字の漢字ノートだと作文の練習にも使えます。新聞記事を読み、100字以内で記事の要約をします。後半の100字に自分の考えを書くと「書く」力が高まります。